

## 第5章 プランの推進

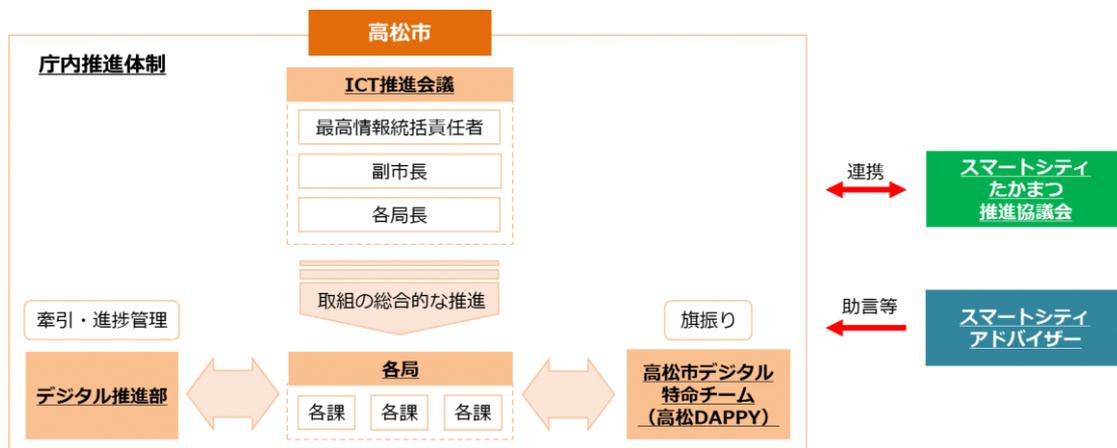
### 1. 推進体制

最高情報統括責任者を中心とする高松市 ICT 推進会議において、総合的に取組を推進するとともに、各施策は、本市総合計画のまちづくり戦略計画に組み入れるなど、計画的・円滑に実施できる体制を整えます。

また、スマートシティたかまつプロジェクトの推進を始め、本市全体のデジタル化に向け、令和3年4月に設置したデジタル推進部を牽引役として、戦略的に取り組んでいくほか、職員公募により設置した高松市デジタル特命チーム（愛称 高松 DAPPY）が、組織や役職、前例にとらわれず、庁内横断的な推進の旗振り役となり、市全体で取組を推進します。

さらに、スマートシティたかまつ推進協議会は、産学民官の多様な主体の連携の場として、プランの推進において重要な役割を担うことから、更なる連携強化を図るとともに、3年3月から設置している本市のスマートシティアドバイザーから、専門的意見やアドバイスを得ながら推進します。

図表 5-1 推進体制図



### 2. 進捗管理

プランで掲げた各施策を着実に推進していくためには、進捗管理を適切に行い、プランの評価や新たな課題への対応を行っていくことが重要となります。

そこで、各所属において、定期的に本プランで設定した取組内容やスケジュールなどの進捗について点検・評価を行うとともに、高松市 ICT 推進会議において、毎年度を1サイクルとしてプランの進捗管理を行い、着実なプランの推進を図ります。

また、デジタル技術の動向や、本市を取り巻く社会情勢は、今後も急速に変化することが予想されることから、本プランで設定した取組内容やスケジュールに必ずしも固執せず、基本方針を念頭に、変化に対して柔軟にかつ素早く対応します。

### 3. 財源の確保方策等

プランの推進に当たっては、必要なデジタル技術の導入やシステム整備等に多額の投資が必要となります。

このため、デジタル技術やシステム等の導入、その改修・更新等に当たっては、その必要性や優先度、費用対効果等の精査を行い、市全体における最適化を図ります。

国及び香川県の方針や計画等を注視し、重複投資がないよう計画的に推進していくとともに、デジタル化に関する国等の予算の積極的な活用や、事業者との連携による役割分担の徹底などにより、費用負担の軽減を図ります。

また、職員数の減少や厳しい財政状況の中でも既存の行政サービスを維持していくため、毎年度の予算編成作業において、デジタル技術を活用した業務効率化及びコストの削減につながるものについては、優先度を上げるなど、庁内横断的かつ戦略的な投資を行います。